

(様式2)

放射線等に関する教育実践事例

学校番号・学校名	〈中・33〉	いわき市立錦中学校
＜実施日＞	平成 27年 11月 23日 (月)	
＜実践教科等＞	※当てはまる番号に○を付けてください。4は()に教科等を入れてください。	
1 理科	② 学級活動	3 総合的な学習の時間 4 その他 ()
＜実践内容＞	対象学年 2学年 課題「放射線は体にどのような影響をもたらすだろうか。」	
① 震災当時（小学生の頃）を思い出させ、放射線の影響によってできずにイライラしたことやいやだなと感じたことについて書く。	・ 外で遊べない。 ・ マスクをしなければいけない。 ・ プールに入れない。 ・ 水や牛乳を飲めない。 ・ 線量計を持ち歩かないといけない。	
② なぜそのようなことをしなければならなかったのか、放射線の影響についてパソコンで調べる。	・ 外部被ばく ・ 内部被ばく ・ 白内障 ・ 不妊 など	
③ 放射線から身を守るためにできることを考える。	・ 放射線を受ける時間を短くする。 ・ 食べ物、飲み物に注意する。 ・ 放射線を体に取り入れれない。	
＜成果＞	なぜ小学生時代に不自由な思いをしたのか、その理由もわかり放射線から身を守る必要性について生徒が理解することができた。また、放射線から自分を守る方法についても自分の経験を振り返りながら考えることができていた。	
＜課題＞	パソコンで調べる際に、難しい言葉なども多く出てきたため、意味を理解するのに時間がかかっていたようであった。放射線に関する言葉の意味についても学習を行う必要があると感じた。	
資料作成担当者職（教諭）氏名	（ 升山瑛美 ）	学校電話番号（62-3522）

【資料作成上の注意】

- 平成27年8月～平成28年7月の実践についてまとめてください。
- 提出期限の平成28年8月1日（月）までに電子メールで送信してください。
（送信先：kakuta-k@city.iwaki.fukushima.jp）